ながさき 県議会だより

9月定例会

令和8年熊本地震に係る街頭募金活動を実施しました!

県議会では、9月7日に県と共同で、令和8年熊本地震に係る街頭募金活動を浜町アーケードで実施しました。

当日は39名の県議会議員や平田知事が参加し、被災地支援への協力を呼びかけました。

皆様からお寄せいただいた102,590円の募金は、日本赤十字社を通じて被災地支援に役立てられます。

温かいご支援、ご協力に厚くお礼申し上げます。



審査した案件と結果

知事提出の議案　・予算 4件(可決)　・条例 2件(可決)
・事件 9件(可決)　・人事 1件(同意)　・認定 3件(継続審査)

議員等提出の案件　・議員派遣 3件(可決)　・意見書 2件(可決)

請 願　2件(不採択)

可決された意見書

○私学助成の充実強化等に関する意見書
○社会福祉施設職員等退職手当共済制度における保育所等に対する公費助成の継続を求める意見書

10月14日、浜町アーケードにおいて、「がん検診受診率向上のための街頭キャンペーン」を実施しました!

県議会では、がん検診受診率向上のための啓発活動に取り組んでおり、今回で15回目の実施となりました。

本県のがん検診(胃がん、大腸がん、肺がん、乳がん、子宮頸がん)受診率は、全ての種別で全国40位以下と低い状況です(令和7年の国の全国調査)。

命を守るためにも、がん検診受診による早期発見と早期治療が大変重要となりますので、健康な体で長生きできるよう、年に1回は、がん検診を受けましょう!!



令和8年9月定例会が開催され、活発な論議が交わされました。

令和8年9月定例会が9月7日から10月5日まで開かれました。

本会議初日は、「令和8年度長崎県一般会計補正予算(第4号)」などの議案が上程され、平田知事が県政の重要事項について報告し、当面する諸課題について所信を述べるとともに、提出議案について提案理由の説明を行いました。

一般質問では、12名の議員が登壇し、九州新幹線西九州ルートの整備促進をはじめ、石木ダム建設、離島・半島振興、土木行政、教育行政、防災・基地対策、農林・水産業の振興、医療・福祉行政、企業誘致・産業振興など様々な事項について活発な論議が交わされました。

補正予算については、上程された議案のうち、令和8年熊本地震の影響に伴う観光支援に要する経費に係る「令和8年度長崎県一般会計補正予算(第5号)」が9月7日(開会日)の本会議で原案のとおり可決しました。

このほか初日に上程された予算案に加え、9月15日に、少雨の影響を受けた農家等に対する緊急支援に要する経費に係る「令和8年度長崎県一般会計補正予算(第6号)」が追加上程され、一般会計の合計で89億675万5千円の増額補正となりました。

本定例会では、19件の議案を原案のとおり可決、同意するとともに、「令和7年度長崎県一般会計決算及び各特別会計決算の認定について」など3件の議案を予算決算委員会に付託し、閉会中の継続審査としました。

また、「私学助成の充実強化等に関する意見書」など2件の意見書を可決、「働く者の声を尊重した労働時間法制の実現とILO三者構成原則の堅持を求める意見書の採択を求める請願」など2件の請願を不採択とし、閉会しました。

一　般　質　問

県道雲仙有家線西有家工区の事業進捗について



録画中継へのリンクはこちら

中島 浩介〈南島原市/自由民主党〉

【質問】県道雲仙有家線西有家工区が、一般国道251号の交通混雑対策としてだけではなく、島原・天草・長島連絡道路と連携し、定時制、速達性の確保、災害時における代替道路の確保などの道路ネットワークの信頼性向上に寄与するものと考えているが、事業の進捗状況は。

【答弁】同工区については、現在、地形測量を実施している。その結果をもとに道路構造や周辺環境を踏まえ、概略ルートの検討を進める予定であり、事業推進に努めたい。

中期財政見通しについて



録画中継へのリンクはこちら

近藤 智昭〈南松浦郡/自由民主党〉

【質問】令和9年度から5年間の中期財政見通しによると、県税収等が増加する一方、社会保障関係費の増嵩等により、毎年40億円程度の財源不足が生じるなど、厳しい財政状況が続く見込みだが、財政運営に関する県の考えは。

【答弁】財政運営に当たっては、税源涵養につながる施策の推進、将来の公債費抑制に向けた投資事業の重点化等により、一層の収支改善を進めるとともに、地方税財源の確保・充実を国に要請するなど、持続可能な財政運営に力を注いでまいりたい。

松浦市におけるAI・データセンターの立地について



録画中継へのリンクはこちら

石本 政弘〈松浦市/自由民主党〉

【質問】国においてデータセンターの地方分散が推進されているが、地震リスクが低く、大規模電源や送電網等のインフラが整備されている松浦地域へのAI・データセンター誘致について、県の考えは。

【答弁】地震リスクが低く、一定程度の工業用水を確保でき、発電所が立地している松浦地域は一つの候補地になり得ると認識している。誘致に当たり、松浦市や電力会社等との連携が重要であり、県産業振興財団への職員配置など体制の強化も含め検討してまいりたい。

離島からの患者搬送について



録画中継へのリンクはこちら

山田 朋子〈佐世保市・北松浦郡/改革21〉

【質問】佐世保市宇久町における夜間の急患搬送体制の確保に向け、近隣の小値賀空港を活用した自衛隊機の夜間運航について、今後どのように取り組んでいくのか。

【答弁】小値賀空港は、自衛隊の夜間離着陸に必要な灯火設備の一部が未整備であるため、上五島空港での活用実績を踏まえ、県の可搬型照明を小値賀空港へ移設し、自衛隊による確認・訓練など急患搬送の運用に向けた取組を進める予定である。また、その他の離島についても、急患搬送体制の確立に向けた調整を進めてまいりたい。

太平洋クロマグロの漁獲枠拡大について



録画中継へのリンクはこちら

清川 久義〈五島市/自由民主党〉

【質問】太平洋クロマグロ大型魚の漁獲枠25%増について、県としてどのように受け止めているか。また、本県への漁獲枠が十分に確保されるよう、国に対して強く働きかけていくべきだと思うが、県の見解は。

【答弁】増枠は予断を許さないが、厳しい資源管理に取り組んできた漁業者の努力が認められたものと受け止めている。本県の漁業実態や漁業者の資源管理の努力が配慮されるべきと考えており、本県に十分な漁獲枠の配分がなされるよう、国に働きかけてまいりたい。

「N-E.X.T.ハイスクール構想」における理系人材や専門人材の育成について



録画中継へのリンクはこちら

山村 健志〈諫早市/自由民主党〉

【質問】「N-E・X・T・ハイスクール構想」において、どのように理系人材や専門人材の育成を進めていくのか。

【答弁】「N-E・X・T・ハイスクール構想」において採択された改革先導拠点校を中心に、企業や大学、研究機関等と連携を図り、先進的な知識や技術に触れる学びを充実していく。文系、理系の枠を超えた実践的な学びを推進し、自ら考え行動し、新たな価値を創造できる力を育むことで、地域や産業の発展を担う次代の人材育成に取り組んでまいりたい。

離島航路の船員不足について



録画中継へのリンクはこちら

畑島 晃貴〈対馬市/自由民主党〉

【質問】県内離島地域への航路や、貨物航路事業者も含めた深刻な船員不足に対して、県としてどのように取り組んでいくのか。

【答弁】県では、今年度から新たに航路事業者を対象に加えた合同企業説明会の開催や、県外からの採用者への支援制度を実施するほか、9月には関係者が一堂に会して「長崎県公共交通運転士・船員確保対策会議」を開催したところであり、引き続き、官民一体となって船員確保に向けた効果的な施策の検討を進めてまいりたい。

デジタル教科書について



録画中継へのリンクはこちら

山口 初實〈諫早市/改革21〉

【質問】デジタル教科書の導入による教育効果、費用負担及びICTを使うことが難しい生徒への配慮について、県の見解と取組状況は。

【答弁】教育効果としては、情報技術の活用による学びの一層の充実が挙げられ、費用負担は、小・中学校では無償給与の対象となるが、高校ではその対象外である。ICT機器の操作が苦手な生徒には、音声入力機能の活用、大型ディスプレイに映しての操作支援などを行っており、生徒の実態に合わせ、工夫して指導している。

避難所指定された学校体育館の空調整備の現状について



録画中継へのリンクはこちら

田川 正毅〈西海市/自由民主党〉

【質問】大規模地震が発生した際の避難所に指定されている学校体育館の空調設備の状況はどのようになっているか。

【答弁】令和8年5月1日現在で、整備率が、県立学校では83棟中1棟の1・2%、市町立学校では398棟中7棟の1・8%にとどまっているため、県立学校では、令和8年度中に体育館を有する全ての学校に移動式冷暖房機を設置し、令和9年度から毎年10校程度に常設の空調設備を整備していく。市町立学校については、国の補助制度の活用などを市町に働きかけている。

佐世保市基地経済ビジョンへの県の関与について



録画中継へのリンクはこちら

永安 健次〈佐世保市・北松浦郡/自由民主党〉

【質問】「佐世保市基地経済ビジョン」は、県北地域のみならず県全体の産業・経済に影響する重要な取組であると考えるが、県として今後どのように関わっていくのか。

【答弁】「佐世保市基地経済ビジョン」は、防衛関連産業の振興や基地を活かしたまちづくりを通じて県内への波及効果も期待される重要な取組である。今後は、市が構築するビジョン推進体制に参画し、国や関係機関と連携しながらビジョン実現に向けた取組を支援してまいりたい。

西九州新幹線のルート選定に対する強い覚悟



録画中継へのリンクはこちら

中村 泰輔〈長崎市/改革21〉

【質問】アセスの範囲や予算配分を決めると報じられている鉄道・運輸機構を交えた技術検討会に本県も参画していただけないか。また、本県のルートに対する考え方及び今後の主張については、どのようなものか。

【答弁】技術検討会は佐賀県区間が対象のため、国交省、佐賀県等が参画した形で実施していく性格のものであると認識している。ルートは、速達性が確保されることが重要と考えており、議論の進展等に応じ、適切に対応してまいりたい。

薬剤師確保対策について



録画中継へのリンクはこちら

宮本 法広〈佐世保市・北松浦郡/公明党〉

【質問】実態調査や関係団体からの意見聴取の結果をどのように次期薬剤師確保計画へ反映していくのか。また、次期計画の策定に向けて、今後どのような方向性で薬剤師の確保、定着及び地域偏在対策に取り組んでいくのか。

【答弁】実態調査などを踏まえ、薬剤師の地域偏在のより詳細な実情を把握し、地域のニーズや現在行っている対策の状況を踏まえつつ、本県の実情に応じた、より実効性のある計画を策定してまいりたい。

常　任　委　員　会

予算決算委員会
委員長／石本 政弘

【質問】N-E.X.T.ハイスクール事業に関し、3年間の総事業費61.9億円をどのような用途に充てて事業を進めるのか。また、その成果を入学者の増加につなげるため、各校の取組や魅力をどのように周知していくのか。

【答弁】事業費は、施設改修や高度な学習・遠隔授業に必要な機器整備、コーディネーター等の人件費に充て、段階的に施設整備や大学・企業との連携を進めながら新たな学びを展開していく。また、学校説明会や文化祭、入試説明会に加え、特設サイトやリーフレット、PR動画等を活用し、中学生や保護者への情報発信を強化していく。

【主な論議事項】本庁舎及び総合庁舎等整備事業費／干ばつ災害からの樹勢回復緊急対策事業費　等

農水経済委員会
委員長／冨岡 孝介

【質問】農業用ため池の整備に関し、渇水対策として、ため池の浚渫等を加速させる必要があると考えるが、ため池整備の現状はどうなっているのか。

【答弁】ため池の整備については、「ため池工事特別措置法」に基づく緊急点検の結果を踏まえ、整備が必要なため池を抽出しているが、決壊した時に人家や公共施設等に甚大な影響を及ぼす恐れがある「防災重点農業用ため池」を優先した整備を進めている。また、渇水対策についても、ため池の機能維持に必要な浚渫等を実施しており、今後も防災対策と並行して、農業用水の確保対策についても、緊急浚渫推進事業債等を活用しながら進めてまいりたい。

【主な論議事項】最低賃金の引き上げ／水産業における外国人材の活用　等

観光生活建設委員会
委員長／山村 健志

【質問】「長崎県人権尊重を促す条例(仮称)」素案に関し、人権侵害を受けても相談せず我慢している人が多い実態を踏まえ、被害者救済につながる仕組みづくりが重要と考えるが、パブリックコメントの意見を踏まえ、県民の声を反映した条例制定にどのように取り組むのか。

【答弁】県民意識調査によると、人権侵害を受けても我慢した人が半数以上であった状況を踏まえ、県などの相談窓口の周知に努めていく。あわせて、パブリックコメントで寄せられた意見は、反映できるものは条例に反映し、難しいものについても今後の条例運用の参考としていきたい。

【主な論議事項】平和事業の取組／令和8年熊本地震に伴う影響　等

文教厚生委員会
委員長／中村 俊介

【質問】子ども医療費助成制度の見直し案に関し、県費負担はどの程度増加するのか。また、令和9年4月の制度開始に向けた市町との調整状況はどのようになっているのか。

【答弁】子ども医療費助成制度の見直しに伴う県負担額は試算で約14億1,000万円を見込んでおり、令和7年度実績と比べ約2億円の増額となる見込みである。市町には見直し案の方向性について、一定の理解を得ており、令和9年4月の制度開始に向け制度改正を進める一方、一部市町はシステム改修等に時間を要するため、開始までの間は現行制度により支援していく。

【主な論議事項】英語で発信!「MIRAI」プロジェクト／県北地域における4年制の看護大学等の必要性　等

総務委員会
委員長／初手 安幸

【質問】九州新幹線西九州ルートに関し、国土交通省と佐賀県との二者合意など、進展が見られる中、今後、本県として全線フル規格による整備実現に向けて、どのように取り組んでいくのか。

【答弁】全線フル規格による整備により、全国の新幹線ネットワークにつながることは、交流人口の拡大や地域振興など、西九州地域全体の発展に大きく資するものと認識している。今回の二者合意は、長年にわたり膠着状態が続いてきた議論を前進させる大きな一歩となるものであり、今回の合意を尊重しながら、今後、国土交通省や佐賀県、JR九州などの関係者と協議を進め、全線フル規格による整備の早期実現に向け、取り組んでまいりたい。

【主な論議事項】県庁舎跡地活用／令和8年熊本地震への支援　等

広島県議会と長崎県議会との平和連携における相互交流事業

8月27日から28日にかけて、核兵器廃絶と恒久平和の実現への取組を一層推進するため、広島県議会と初めての相互交流事業を実施しました。両県議会議員26名が参加し、平和公園での献花や平和関連施設の視察、意見交換を行いました。今回の交流を契機として、地方議会としての役割や発信力を高める継続的な連携へとつなげてまいります。



インターンシップ生との意見交換会

9月16日にインターン中の県立大学生が自由民主党の中村俊介議員、もったいないよ 長崎の大倉聡議員と意見交換を実施しました。

意見交換では、学生が自ら考える行政課題に関して、議員へプレゼンテーションを行い、議員からは発表に対する助言のほか、自由に意見を交わし、若者の関心の把握、政治参加への意識醸成を図ることができました。



ハラスメント防止に関する議員研修会

県議会では、ハラスメント防止に関する研修会を毎年開催しており、今回は10月1日に、一般社団法人アンコンシャスバイアス研究所理事の太田博子氏を講師としてお招きし、「アンコンシャスバイアスに気づき、対処する」と題して、アンコンシャスバイアスの事例やその対処法など有意義なお話をお聴きすることができました。



※アンコンシャスバイアスとは…
何かを見たり、聞いたり、感じたりしたとき等に、「無意識に"こうだ"と思い込むこと」

お知らせ

動画配信
本会議・委員会の中継・録画配信を行っています。
一般質問の表題横の二次元コードから各議員の一般質問の録画にアクセスできます。

ホームページ・会議録　会議録全文を掲載しています。
○平成8年2月～令和8年6月定例会の本会議・常任委員会
○平成24年4月～令和8年7月分の特別委員会
長崎県議会　検索
会議録検索システムへのリンクはこちら　ホームページ

公式SNS
県議会公式SNS
(X(旧Twitter)、Facebook)
はこちら→
X(旧Twitter)　Facebook

次回定例会　令和8年11月25日(水)に開会予定です。
本会議・委員会は、原則としてだれでも傍聴できます。

テレビ放送　「県議会リポート」
令和8年10月31日(土) 15:55～16:25
NCC長崎文化放送　5ch

提供／長崎県議会　　お問合せ先／議会事務局(政務調査課)　TEL095(894)3634